

科目名	地学基礎	単位数	2	学年	2	コース	文系	必選別	選択
教科書	地学基礎 改訂版 (啓林館)			副教材等	なし				

1 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 第1節 地球の概観 第2節 地球の内部構造	地球の形と大きさ 地球内部の層構造	・地球の形の特徴と大きさについて理解する。 ・地球内部の層構造とその状態を理解する。	発言内容 行動観察 ワークシート分析 小テスト レポート分析
5	第2章 活動する地球 第1節 プレートテクトニクスと地球の活動	プレートの運動 【中間考査】	・プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解する。 ・教科書 P.12～33	
6	第2節 地震 第3節 火山活動と火成岩の形成	火山活動と地震 【期末考査】	・火山活動と地震の発生の仕組みについて理解する。 教科書 P34～62	発言内容 行動観察 ワークシート分析 小テスト レポート分析
7				
9	第3部 大気と海洋 第1章 大気の大循環 第1節 大気圏 第2節 水と気象	・大気と海水の運動	・大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解する。	発言内容 行動観察 ワークシート分析 小テスト レポート分析
10	第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第1節 地球のエネルギー収支	・地球の熱収支 【中間考査】	・大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解する。 教科書 P110～125	
11	第2節 大気の大循環 第3節 海水の循環 第3章 日本の天気 第1節 日本の位置 第2節 冬から春の天気 第3節 夏から秋の天気	・大気と海水の運動 日本の自然環境 【期末考査】	・大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解する。 ・日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて考察する。 教科書 P126～152	発言内容 行動観察 ワークシート分析 小テスト レポート分析 発言内容 行動観察 ワークシート分析 小テスト レポート分析
12				

1	第4部 宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽 第1節 太陽系の天体 第2節 太陽系の誕生 第3節 太陽	太陽系の中の地球	・太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解する。	発現内容 行動観察 ワークシート分析 小テスト レポート分析
	2	第2章 恒星としての太陽の進化 第1節 太陽と恒星 第2節 太陽の誕生と進化	太陽と恒星	
3	第3章 銀河系と宇宙 第1節 銀河系とまわりの銀河 第2節 宇宙の姿	宇宙のすがた	・宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。	【期末考査】 教科書 P154～202

3 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球をとりまく環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けているか。
思考・判断・表現	地球や地球をとりまく環境に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。
観察・実験の技能	地球や地球をとりまく環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
知識・理解	地球や地球をとりまく環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

授業に集中して取り組み、内容のあるノートを作ることが重要である。
提出物は期限を守り、レポート等は内容の充実を目指すことが大切である。
予習も大切だが、毎時間の復習を行うことが特に重要である。